

今月の技術対策
(畜産編FAX情報)

留萌農業改良普及センター・留萌地区農協酪農畜産対策協議会

TEL : 0164-62-1779 FAX : 62-2474

E-mail: rumoi.nakanoukai1@pref.hokkaido.lg.jp



その他情報も
HPで公開中!

衛生的乳質改善 その⑨

～乳房炎の早期発見：乳房の異常兆候と分娩前の乳汁検査～

乳房炎の早期発見・早期治療は乳質改善の基本技術です。乳房炎が軽症なうちに早めの対策を心がけましょう。

(1) 乳房の異常兆候

乳房炎を引き起こす微生物は非常に多く、特徴的な症状を示すことが知られています。一方、SAG（無乳性連鎖球菌）やCNS（表皮ブドウ球菌）のように乳房に明確な症状を見せない菌や、乳牛の健康状態により乳房に病態が見られない報告も多数あります。**必ず前搾りによって乳汁を確認し、異常を感じた場合はPLテストで調べましょう。**

表1 主な乳房炎原因菌による乳房の症状

原因菌 症状	SA	SAG	OS	CO	CNS	カビ類	プロトセカ (藻類)	マイコ プラズマ
熱感				○				
腫脹			○	○		○	○	○
硬結			○	○		○	○	○
しこり	○							○
萎縮								○

SA:黄色ブドウ球菌 SAG:無乳性連鎖球菌 OS:環境性連鎖球菌 CO:大腸菌群 CNS:表皮ブドウ球菌

牛の乳房炎治療ガイドライン(2015)、酪農学園大学 樋口豪紀教授講習会より

(2) 分娩前乳汁による乳房炎判断

分娩前5～10日前に乳汁の性状を調べることで乳房炎に罹っているかを判断する方法もあります。

異常がある場合は、NOSAI獣医師に連絡しましょう。

表2 分娩前の乳汁性状による乳房炎判断

	乳汁の状態	乳房炎の判断
飴状	容器を傾けても流れない	正常
初乳様状	容器を傾けるとゆっくり流れる	乳房炎の可能性がある
水様状	抵抗なく流れる	乳房炎の可能性が非常に高い

※必ず搾乳手袋をして、きれいに乳頭を清拭してから搾乳しましょう。

山形NOSAI 板垣昌志獣医師報告より

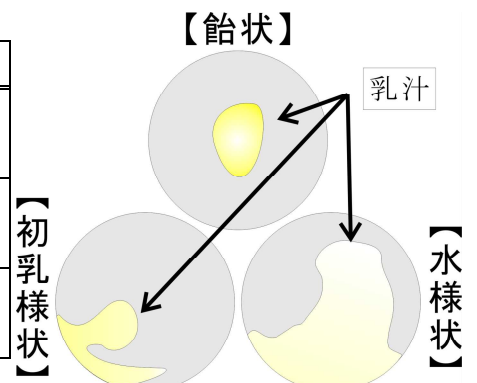


図1 分娩前乳汁